

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所るあな		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		~ 2025年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		~ 2025年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	初めての児童デイ利用でも穏やかに過ごせる環境。	一戸建てを利用している為、一般家庭の中での雰囲気緊張せずに過ごせます。庭で遊んだり、畳まで休むこともできます。	生活動作を自分の家でも継続して行えるように環境を整えて支援します。
2	利用児の他、ご家族への支援を重要視します。利用児以外のご兄弟や、当事業所卒業後の相談事もお受けします。	ご家庭での平穏が利用児への支援へと繋がると考えている為、保護者様とのコミュニケーションを重視し、少しでも不安を取り除ける様努めています。	心理士のセミナーや子育て相談、保護者交流会などを実施し、保護者様の悩み事への手助けになる環境づくりを致します。
3	就学に向けての移行支援。 利用児の特性を生かす併用支援。	利用児の特性を活かせるよう、利用時に合った移行先、併用先を探し、見学体験への付き添いを行っています。	安心して利用児を預けられるように他事業所との交流をし、他事業所とも信頼を築いていけるように努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れる範囲が狭い	職員が少ない為、事業所を中心にして送迎できる範囲が狭い	職員を増やして、利用者の地区範囲を広げる
2	保護者会など、保護者様同士の交流の場が少ない	プールや公園遊びなど、利用児が一緒の場でしか交流の場がなかった	セミナーや相談会、交流会などを設けて保護者様同士が繋がる機会を増やす
3	未就学のみでの受け入れ	多機能型ではあるが、未就学のみとなっている。活動の設備や教材も低年齢の設定となっている。	就学しても継続したいとの希望がある為、受け入れられる環境整備を行う。